施策名:高齢者の活躍と地域包括ケアシステムの構築

事業名	担当課・室名	ページ
産学官連携ヘルスケアモデル事業	政策企画課	2 / 11
はつらつ高齢者地域活動チャレンジ事業	高齢者福祉課	3 / 11
老人クラブ助成事業	高齢者福祉課	4 / 11
高齢者の生きがいと健康づくり推進事業	高齢者福祉課	5 / 11
地域包括ケアシステム構築推進事業	高齢者福祉課	6 / 11
老人福祉施設整備事業	高齢者福祉課	7 / 11
介護サービス基盤整備事業	高齢者福祉課	8 / 11
介護ロボット導入支援事業	高齢者福祉課	9 / 11
認知症在宅ケア強化事業	高齢者福祉課	10 / 11
市町村認知症施策強化推進事業	高齢者福祉課	11 / 11

(事業実施年度:平成27年度) (評価実施年度:平成28年度)

事業名	产労守連维へルフ	ケアエデル東娄	車柴期間	亚出 9.7	在度。亚比 在E	r i	政策区分	健康長寿・生涯現役社会の構築〜健康寿命日本一の実現〜
学 未石	産学官連携ヘルスケアモデル事業		事業期間 平成 27		年度~平成 年度		施策区分	高齢者の活躍と地域包括ケアシステムの構築
総合評価	A	継続・見直し	事業実施護	果(室)名	政策企画課		評価者	政策企画課長 磯田 健

[1. 現状·課題、目的]

認知症高齢者の増加により、予防方法の確立が世界的な課題となっている中で、大分大学で運動・生活習慣と認知症発症メカニズムを解明する研究が進められている。

事業の目的

産学官連携による認知症研究の推進と関連産業の創出を展開することにより、大分県が世界 最先端の認知症研究・関連産業拠点となることを目指す。

[2.事業内容] (単位:千円)

	活動名及び	活動内容				事業実施年度に	おける効率	を化の取組状況	コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
					35, 533	35, 533						
①認知症研究	認知症研究推進事業								事業費		32, 533	32, 533
	大分大学や民間企業等と連携し、生体センサー等を活用したデータ収集による、アルツハイ 一型認知症の発症リスクを解明(一次検診受診者555名) 認知症関連機器開発事業 認知症関連機器開発に対する助成の実施(年2件)						・商工労働部との連携による認知症 (うちー般財源)					32, 533
							企業の選定	<u> </u>	(うち繰越額)		32, 533	
認知症関連									人件費		3,000	3, 000
									職員数(人)		0.30	0.30
	指標名 (単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成 (年度)	評価	今後の課題				
		目標値		500	1,000							
活動指標	- 大動地博 一次検診受診者数 (人) 実績値 <u> </u>											
伯别徂徐		達成率		111.0%			a	製知症器症	認知症発症リスクの解明に向けた実証データの蓄積			
		目標値		2 2			l a	1000円に元/エフハフック所がJTCPI(1) / アロエノ フック国/国				
	認知症関連機器開発件数(件)	実績値		2								

[3. 事業の成果]

	指標名 (単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	東終達成 (年度)	評価	事業の成果
成果指標	一次検診受診率(%)	目標値		95	95			
	(リストバンド装着者数に対する	実績値		96			a	一次検診受診率が高く、データ蓄積が順調に進んだことにより、「1日の歩数と 知機能」や「会話時間と認知機能」などに、相関関係が判明した。
	一次検診受診者の割合)	達成率		101.1%				

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性 終了 継続・見直し 例外的に継続 廃止

今後の事業方針

- ・実証データ蓄積のための新たな研究協力者(リストバンド装着者)の確保
- ・国プロジェクトに応募等による研究規模の拡大
- ・引き続き、産学官連携の認知症共同研究による実施運動・生活習慣とアルツハイマー型認知症の発症リスクの解明

達成率

100.0%

(事業実施年度:平成27年度) (評価実施年度:平成28年度)

事業名	はつらつ高齢者地域	域活動チャレンジ	事來相間	亚比 9.5	年度~平成 27 年度	政策区分	健康長寿・生涯現役社会の構築 ~健康寿命日本一の実現~
学 未石	事業		争未朔间	平成 23	中皮 中成 27 中皮	施策区分	高齢者の活躍と地域包括ケアシステムの構築
総合評価	A	終了	事業実施課	杲(室)名	高齢者福祉課	評価者	高齢者福祉課長 清末 敬一朗

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題 高齢社会の進行にともない高齢者の社会参加の必要性が高まっている。 事業の目的 高齢者の社会参加を促進することで地域社会の活力の維持向上を目指す。

[2.事業内容] (単位:千円)

<u> </u>	141.7											(十一)
	活動名及び	活動内容				事業実施年度に	おける効率	区化の取組状況	コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
	フティブシニア養成講座の開催 者が高齢者を支える担い手となるた&	かの講座を	開催(56名)						総コスト	12, 123	23, 360	
委託先:大久 ②ふるさとの資	∂県老人クラブ連合会 素ん事業						らいたアクティブシニア養成講 事業費 7,123 18,360					
豊かな知識や	これずん や技能を生かし地域活動をする人材の 分県老人クラブ連合会		座のフォローアニーズに合わせ			生の 催: (うちー般財源) 5,099 16,356						
③シニアパワー	一活動支援事業					2回→1回) 人件費 5,000 5,					5,000	
	フティブシニア養成講座の修了生等だ <u>ハ地域活動等の事業支援(10団体、2</u>		主体となって	新たに実施	する				職員数(人)	0.50	0.50	
	指標名(単位)	達成度 目標値	26年度	27年度	28年度	最終達成 (27年度)	評価			今後の課	題	
		22		22								
活動指標	グループ登録数	実績値	20	24		24						
伯男伯倧		達成率	95. 2%	109.1%		109.1%	_	活動しやす	動しやすいグループでの登録を促進するため、達人募集期間の広報を強化			

a

50

56

112.0%

・福祉分野で活動するアクティブシニアの育成に特化

[3. 事業の成果]

	/AXA/N]							
	指標名(単位)	達成度	26年度	2 7 年度	28年度	最終達成 (27年度)	評価	事業の成果
成果指標		目標値	638	656		656		アクティブシニア養成講座の開催により、元気な高齢者が高齢者を支える担い手
/X/K111/JK	ふるさとの達人登録者数(人) (累計)	実績値	667	655		655		となるために必要な知識と実践力が養われたことで、高齢者の活躍と社会貢献活動 を推進することができた。また、豊かな経験や知識、技術を持つ「ふるさとの達
		達成率	104.5%	99.8%		99.8%		人」が数多く登録され、地域の担い手となる人材の確保が図られた。

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了継続・見	直し 例外的に継続	廃止
--------	--------	-----------	----

目標値

実績値

達成率

50

46

92.0%

50

56

112.0%

アクティブシニア養成講座受講者

数(旧:シニアリーダーカレッ

今後の事業方針

・本事業は平成27年度までで終了するが、「いきいき高齢者地域活動推進事業」に事業内容を組み替え、引き続き一人暮らし高齢者世帯等に対する生活支援などの「元気な高齢者が高齢者を 支える」人材育成、高齢者の相互支援の仕組み作りの構築を推進

(事業実施年度:平成27年度) (評価実施年度:平成28年度)

事業名	老人クラブ助成事	*	車柴期間	叨€□ 5.1	年度~平成 年度	政策区分	健康長寿・生涯現役社会の構築 ~健康寿命日本一の実現~
尹禾石	名八ケノノ 助风事:	未	尹未朔间	PE 4H 5 1	中及"中风" 中及	施策区分	高齢者の活躍と地域包括ケアシステムの構築
総合評価	A	継続・見直し	事業実施護	果(室)名	高齢者福祉課	評価者	高齢者福祉課長 清末 敬一朗

[1. 現状·課題、目的]

現状・課題 健康づくりや地域貢献活動等を行う老人クラブが担う役割がますます重要となっているが、老人クラブの会員数、クラブ数ともに減少している。また、ひとり暮らし高齢者等について、孤独感の解消や安否確認、事故や悪徳商法等による被害防止を図るための地域における支え合い活動が求められている。

事業の目的

高齢者の社会参加を促進するとともに、高齢者等の孤立防止や事故あるいは悪徳商法等による被害を防止するなど、高齢者が安心して生活できる地域づくりを推進する。

[2.事業内容] (単位:千円)

活動名及び活動内容	事業実施年度における効率化の取組状況	コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)		
①老人クラブ助成事業費補助 社会奉仕活動を行う単位老人クラブへの活動費を助成(31,968千円)	・補助金の交付申請や実績報告において、データの提出も求めること	総コスト	55, 807	54, 551	54, 227		
②地域支え合い推進事業費補助 高齢者の孤立化を防ぐため友愛訪問を行う活動費を助成(訪問回数208,118回)	で、書類の差し替え等の際に迅速な対応が可能となった	が可能となった 事業費 52,807 51,551					
③健康づくり等支援事業費補助 高齢者が企画した各種活動(学習会・スポーツ大会等)を助成(39件) ④高齢者相互支援推進啓発事業費補助	・補助対象経費を交付申請書に記載 することにより、補助金交付事務を 円滑化するとともに、交付誤りを防	(うち一般財源)	26, 771	25, 667	25, 614		
毎両師有相互又復推連合発事業賃備切 友愛訪問活動等の啓発・普及を行う研修会の開催経費等の助成(18回開催) ⑤老人クラブ連合会活動推進員設置事業費補助	上 上	人件費	3, 000	3,000	3,000		
老人クラブ等活動推進員の設置経費の助成(2名)		職員数(人)	0.30	0.30	0.30		
华博夕(单位)	最終達成 表版		-	蹈			

	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	取於達成 (年度)	評価	今後の課題
		目標値	220,000	220,000	220,000			
江手叶七抽	友愛訪問回数(回)	実績値	221, 749	208, 118				・老人クラブの会員数、クラブ数ともに減少しているため、老人クラブが高齢者の
活動指標		達成率	100.8%	94. 6%				活躍の場となるよう、魅力ある活動を行うクラブづくりなどにより加入を促進
		目標値	600	600	600		a	位理が物でなるよう、)MMのの位動で11 ファファファクなどにより加入で促進
	健康づくり活動(回)	実績値	627	632				
		達成率	104 5%	105.3%				

[3. 事業の成果]

	指標名 (単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成 (年度)	評価	事業の成果
成果指標		目標値	16	15	14			老人クラブが行う清掃活動、健康づくり活動、友愛訪問活動、奉仕活動を通じて、高齢者の社会参加が促進されるとともに、地域における高齢者福祉の推進が図
14V1V1111V	老人クラブ加入率全国順位(位)	実績値	19				a	られた。 ※27年度の実績は28年10~11月判明見込みのため、26年度実績を評価
		達成率	90.6%					※27年度の美積は20年10°11万刊切允匹みのため、20年度美積を計画

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性 終了 機・見直し 例外的に機・ 廃止

今後の事業方針

- ・子ども見守り活動等の社会参加活動や生きがいづくり等の各種活動を行う老人クラブを支援
- ・若手高齢者の老人クラブへの加入促進に向けた現状分析や組織化を支援

(事業実施年度:平成27年度) (評価実施年度:平成28年度)

事業名	高齢者の生きがい。	と健康づくり推進	事業期間	平成 2	年度~平成 年度	政策区分	健康長寿・生涯現役社会の構築 ~健康寿命日本一の実現~
学 未石	事業		争未朔间	十成 2	中及 中成 中皮	施策区分	高齢者の活躍と地域包括ケアシステムの構築
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課	果 (室) 名	高齢者福祉課	評価者	高齢者福祉課長 清末 敬一朗

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題 高齢社会の進行にともない高齢者の生きがいと健康づくりの必要性が高まっている。

事業の目的

スポーツや趣味を通して高齢者の健康と生きがいの高揚を図るとともに、地域間・世代間 交流を通じてふれあいと活力のある長寿社会づくりを推進する。

[2.事業内容] (単位:千円)

<u> </u>												\ <u> </u>	
	活動名及び	活動内容				事業実施年度における効率化の取組状況			コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)	
	りんピックの開催 (社福)大分県社会福祉協議会								総コスト	26, 483	25, 828	26, 061	
	ーツ交流大会(11種目13競技 2,159) あい交流大会(4種目 925人)	K)				・美術展等の第	案内の配布	が先等の見直	事業費	25, 483	24, 828	25, 061	
③ふれる	あいニュースポーツ等 (655人)					し及び拡充 (介護職員向けの研修等での効率的			(うち一般財源)	2, 151		16, 207	
<u></u>	バー囲碁、将棋、俳句大会(190人) あい広場					な情報発信)			人件費	1,000	1,000	1,000	
⑥美術原	展、短歌・俳句・川柳展(2,041人)								職員数(人)	0.10	0.10	0. 10	
	指標名 (単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成 (年度)	評価			今後の課	題		
		目標値	18	18	18								
活動指標	大会開催協力団体数(団体)	実績値	18	18				. 十今問燈坊	大会開催協力団体数は現状維持し、要望の状況や会場規模等を勘案しながら大会				
伯男伯悰		達成率	100.0%	100.0%			\mathbf{a}		催励力団体数は現仏権付し、安重の仏仇や云場別関寺を倒染しながら八云 団体数の増加を検討				
		日逓估	- 1	- 1	4	I	ıa	四压吻具凹件	・ ダイ・ヘ・ロソロ で 小人	H.1			

[3. 事業の成果]

	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成 (年度)	評価	事業の成果
成果指標		目標値	5, 700	5,800	5, 900			豊の国ねんりんピックの開催により、高齢者を中心とする県民の健康の保持・増
双 未拍倧	豊の国ねんりんピック参加者数 (人)	実績値	5, 498	5, 970			ıu	進、社会参加、生きがい等の高揚が図られ、ふれあいと活力のある長寿社会づくり
		達成率	96. 5%	102.9%				が推進された。

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性 終了 機能・見直し 例外的に継続 廃止

今後の事業方針

・高齢者団体等によるふれあいコーナーの実施内容の改善・強化等により、より一層の三世代交流の場を提供

目標値

実績値

達成率

4

4

100.0%

4

4

100.0%

4

- ・スポーツのみならず文化活動や福祉及び健康増進の場とするため広報等を強化
- ・28年度からは県美術館を利用することで文化部門での参加を促進

大会開催協賛団体数(団体)

(事業実施年度:平成27年度) (評価実施年度:平成28年度)

事業名	名 地域包括ケアシステム構築推進事業		車柴期間	亚比 2.6	年度~平成 年度	政策区分	健康長寿・生涯現役社会の構築 ~健康寿命日本一の実現~
学 未石			事未朔间 十成 2 0 年及 十版 中及		施策区分	高齢者の活躍と地域包括ケアシステムの構築	
総合評価	A	継続・見直し	事業実施護	果(室)名	高齢者福祉課	評価者	高齢者福祉課長 清末 敬一朗

[1. 現状・課題、目的]

超高齢化社会(高齢化率が21%超)において、高齢者が地域で安心して暮ら 現状・課題 せる、医療、介護、予防、住まい及び生活支援サービスを切れ目なく提供できる 仕組み(地域包括ケアシステム)が求められている。

達成率

101.7%

139.3%

事業の目的

地域ケア会議の充実と地域ケア会議から明らかになった地域課題の解決に取り組む市町村を支援することにより、地域包括ケアシステムの構築を図る。

[2.事業内容] (単位:千円)

L <i>a</i> . 尹未P	71谷」											(単位: 下門)		
	活動名及び	舌動内容				事業実施年度に	おける効率	区化の取組状況	コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)		
	議の充実・強化 議への専門職派遣(延べ1,742人)、	15回派遣)					総コスト	46, 503	29, 505	32, 855				
②地域包括支	援センターのリハ職等の配置支援			,,,,,,,	+	- HT wife)(-)	事業費	26, 503	14, 505	17, 855				
委託先:農	ケアのさらなる普及を推進するため。 協共済 別府リハビリテーションセン			派遣(3市)		・リハビリテーる医療機関に基	事業を委託	ビレ、自立支	(うち一般財源)					
地域包括ケ	アシステムを担う人材の育成 アシステムを推進するため、必要な知				ī	援型ケア普及の	の取組を加	速	人件費	20,000	15,000	15,000		
	支援センター・市・保健所を対象にし 所介護事業所等を対象にした研修(言								職員数(人)	2.00	1. 50	1. 50		
	指標名 (単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成 (年度)	評価	今後の課題						
	地域ケア会議への専門職派遣	東田聯派 港 目標値 1,439 1,439 1,742												
活動指標	延べ人数(人)	実績値達成率	1, 439	1,742										
石 期 相 保	10 3/10 W		100.0%	121.1%] _	・地域ケア会議への医師の参加						
			120	150	170		a		・リハビリテーション専門職の確保					
	地域包括支援センター職員等研修 受講者数(人)	実績値	122	209										
	X HY D 9A (/V)	生中去	101 70/	100 00/				li						

[3. 事業の成果]

	指標名 (単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成 (年度)	評価	事業の成果
成里指煙	P指標 リハビリテーション専門職配置 (派遣含む) 市町村数	目標値		3	18			
成果指標		実績値		4			a	今年度取り組んだモデル事業の結果、市町村におけるリハビリテーション専門職 等の配置(派遣含む)が推進され、自立支援型ケアの効果的な実施につながった。
		達成率		133.3%				

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性 終了 機械・見直し 例外的に機械 廃止

今後の事業方針

- ・ 医師が参加する地域ケア会議のモデル開催
- ・リハビリテーション専門職の人材バンクの創設

(事業実施年度:平成27年度) (評価実施年度:平成28年度)

繰越がある場合用

事業の成果

|画)(計画期間:27年度~29年度)に基づき、計画的に老人福祉施設の整備及び

生活環境の改善が進められ、高齢者福祉サービスの充実が図られた。

「おおいた高齢者いきいきプラン」(大分県高齢者福祉計画・介護保険事業支援計

別紙2-4

事業名	北 1 短51 15 10 1 15 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	F-AF:	中米州田	177.∓n 4.0	年度~平成	左座	政	策区分	健康長寿・生	涯現役社会の構築	~健康寿命日本一の)実現~	
尹未行	老人福祉施設整備事	芦 栗	事 耒期间	哈和 4 3	年度~平成	年度	施	策区分	高齢者の活躍と地域包括ケアシステムの構築				
総合評価	A	継続・見直し	事業実施調	果(室)名	高齢	者福祉課	割	严価者	高齢者福祉課長 清末 敬一朗				
[1. 現状	・課題、目的]												
現状・課題	#+.ロロギ =# +/、I ユ	くことから、高齢者の種を計画的に整備すると。 を計画的に整備すると。 老人福祉施設の改築を打	ともに、入所	者の安心・	安全を確保	事業の目的	要援護	護老人に対する施設福祉サービスの充実を図る。					
[2.事業]	内容]											(単位:千円)	
		舌動名及び活動内容				事業実施年度に	おける効率	区化の取組状況	コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)	
									総コスト		428, 713	145, 537	
									事業費		414, 713	131, 537	
	設整備事業費補助金					・補助金の交付			(うち一般財源)			250	
社会福祉法	人が整備する養護老人ホ	ームの改築に要する経	費を助成(3	施設、200床	:)	としてメールにすることにより			(うち繰越額)			22, 287	
									人件費		14,000	14, 000	
									職員数 (人)		1.40	1.40	
	指標名(単位	正) 達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成 (年度)	評価			今後の課	題		
		目標値		3	1	1 30							
活動指標	整備施設数 (施設)	実績値		3									
10 29 10 00		達成率 目標値		100.0%	50		a ·老/	・老人福祉施設等の整備等による施設福祉サービスの充実					
	整備床数(床)	実績値		200	50								
	正												

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性 終了 継続・見直し 例外的に継続 廃止

達成度

目標値

実績値

達成率

26年度

5,828

5, 799

99.5%

指標名(単位)

特別養護老人ホームの整備床数

(累計) (床)

今後の事業方針

成果指標

・特別養護老人ホーム等の計画的な整備及び老朽化した老人福祉施設の改築等により生活環境の改善を進め、要援護老人に対する施設福祉サービスの充実を図る

27年度

5,834

5,814

99.7%

28年度

5,921

最終達成

年度)

評価

(事業実施年度:平成27年度) (評価実施年度:平成28年度)

事業名	介護サービス基盤整備事業		事業期間 平成 27 年度~平成 年度 -			政策区分	健康長寿・生涯現役社会の構築 ~健康寿命日本一の実現~
学 未石			事来期间 十成 27 年度~千成 年度		施策区分	高齢者の活躍と地域包括ケアシステムの構築	
総合評価	A	継続・見直し	事業実施誤	果(室)名	高齢者福祉課	評価者	高齢者福祉課長 清末 敬一朗

[1. 現状·課題、目的]

高齢化が加速していくことから、高齢者の利用ニーズや地域の特性を考慮し、 現状・課題 圏域別・市町村別に小規模介護施設等を計画的に整備していかなければならな

事業の目的

市町村計画に基づき小規模介護施設等の創設及び増設等を行い、地域の実情に応じた介護 サービス等の充実を図る。

「2 事業内容] (単位・千円)

L <i>u</i> .	1谷]											(単位:十円)
	活動名及び沿	舌動内容				事業実施年度に	おける効率	率化の取組状況	コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
	施設等の整備支援	L → / O+/====				日の扩きから	1 +τ 1 - 1 -1-1-πμ	11年により中	総コスト		170, 834	1, 244, 814
②施設の開設	施設等の創設や増設に要する経費を即 準備経費の助成					・国の新たなり業が実施され	ることとな	よったため、	事業費		165, 834	1, 234, 814
	人ホーム等の円滑な開設等のため、 室改修等支援事業	と助成(3施記	没)		H26までは財源の構成上、施設整備と 開設準備で別々の補助金交付要綱				0	0		
	間仕切り設置等に要する経費の助成 医療施設等の転換整備支援事業	(2施設)					だったものをH27では1本化し、交付 手続き等を集約				5,000	10,000
	政施設等への転換整備に要する経費の)助成(1	施設)			1 1/1/10 4 5 78/	,,		職員数 (人)		0.50	1. 00
	指標名(単位) 達成度 26年度 27年度 28年度						評価	今後の課題				
	小規模特養整備施設数	目標値		45	47							
江新七冊	(累計・施設)	実績値		45				・引き続き市町村計画に基づき小規模介護施設等の創設及び増設等を行い、地域の				
活動指標		達成率		100.0%] _					
	初から京松本が、 プエ ・ 軟件						a	実情に応じた				

[3. 事業の成果]

	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成 (年度)	評価	事業の成果
成果指標	指標 小規模特養及び認知症高齢者			2,899	3, 115			
	グループホームの整備床数	実績値		2,872			a	市町村計画に基づいた小規模介護施設等の創設及び増設等により、地域の実情に 応じた介護サービス等の充実が図られた。
	(累計・床)	達成率		99.1%				

[4. 今後の方向性等]

認知症高齢者グループホーム整備

施設数 (累計・施設)

今後の事業方針

・引き続き市町村計画に基づき小規模介護施設等の創設及び増設等を行い、地域の実情に応じた介護サービス等の充実を図る

実績値

達成率

132

97.8%

(事業実施年度:平成27年度) (評価実施年度:平成28年度)

車業夕	事業名 介護ロボット導入支援事業		事業期間 平成 27 年度~平成		年度~平成 年度	政策区分	健康長寿・生涯現役社会の構築 ~健康寿命日本一の実現~
学 未石					中皮 中成 中皮	施策区分	高齢者の活躍と地域包括ケアシステムの構築
総合評価	D	例外的に継続	事業実施護	果(室)名	高齢者福祉課	評価者	高齢者福祉課長 清末 敬一朗

[1. 現状・課題、目的]

介護サービス事業者のほぼ半分が介護職員の不足感を抱いており、身体的・精 現状・課題 神的に仕事がきついことが採用困難の大きな原因となっている。

介護ロボットを導入する事業所に導入経費を助成するとともに、導入効果等を広報するこ 事業の目的とにより、介護現場への介護ロボットの普及を促進し、介護職員の身体的・精神的負担の軽 減を図る。

「2. 事業内容] (単位:千円)

	活動名及び液	舌動内容				事業実施年度に	おける効率	区化の取組状況	コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
									総コスト		1, 248	5, 500
①介護ロボット	、道入支採車業								事業費		748	5,000
	ス事業所に対し、介護ロボット導入経	怪費を補助	(8台)			・関係書類のはよる事務処理の		る送受信に	(うち一般財源)			
									人件費		500	500
									職員数(人)		0.05	0.05
	指標名 (単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成 (年度)	評価			今後の課	題	
	本事業による介護ロボットの導入	目標値		30	50							
活動指標	(台数)	実績値		8								
活 期拍標	(1 %/)	達成率		26. 7%				介護サード	*ス重業所への	介護ロボットの有効	効性の十分な周知	
		目標値					c	月段 / こ		刀咬らなりしの方	21 I 27 I 27 I 26 I 26	
		実績値]					
		達成率										

[3. 事業の成果]

	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成 (年度)	評価	事業の成果
成果指標		目標値		30	150			介護ロボットを導入する事業所に導入経費を助成することにより、介護現場への
	県内介護サービス事業所における 介護ロボット導入台数(台数)	実績値		8			c	介護ロボットの普及が図られ、介護職員の身体的・精神的な負担が軽減された。 なお、28年度の目標値には介護ロボット等導入支援特別事業(国事業)により
		達成率		26.7%			1	導入された介護ロボットを含む。

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
--------	----	--------	--------	----

今後の事業方針

- ・介護職員の定着のためには、介護ロボット導入による身体的・精神的な負担の軽減が不可欠であるため、28年度以降も事業を継続
- ・平成28年度から、上記補助により導入した介護ロボット活用状況の県庁IP等での積極的広報など、普及啓発による需要の掘り起こし

(事業実施年度:平成27年度) (評価実施年度:平成28年度)

事業名	初知庁左乞をフ強く	知症在宅ケア強化事業		亚比 9.5	年度~平成 27 年度	政策区分	健康長寿・生涯現役社会の構築 ~健康寿命日本一の実現~		
尹禾石		L 尹未	争未朔间	十成 23	中皮 一种皮	施策区分	高齢者の活躍と地域包括ケアシステムの構築		
総合評価	A	終了	事業実施課	県(室)名	高齢者福祉課	評価者	高齢者福祉課長 清末 敬一朗		

[1. 現状・課題、目的]

高齢化の進展に伴い急性期を担う一般病院における認知症高齢者への対応と、 社会的に理解度が低い若年性認知症の人への支援体制の整備が課題となってい る。

事業の目的

一般病院の医療従事者の認知症対応力の向上を図ることにより、認知症高齢者への適切な 医療提供を進める。また、若年性認知症に関する相談体制の整備を行う。

[2.事業内容] (単位:千円)

	活動名及び	活動内容				事業実施年度に	おける効率	区化の取組状況	コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)
(2) 知知点につ	1 44-4-12								総コスト	25, 545	3, 578	
	第の医療従事者向け認知症対応力向」	上研修の実施	施 (6回)						事業費	22, 545	1, 578	
委託先:大分 ②若年性認知療									(うち一般財源)	11, 181	256	
若年性認知症	定自立支援ネットワーク会議の設置 定相談機関への研修会の開催(1回)	(1回)							人件費	3, 000	2,000	
41 T I T PU X P //	正恒跃成员 "好明尼五"的 用 (1四)								職員数 (人)	0.30	0.20	
	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成 (27年度)	評価			今後の課	題	
	一般病院の医療従事者向け研修	目標値	6	6		6						
江新七冊	放物院の医療促事有向の物態 (回)	実績値	6	6		6						
活動指標	\ <u>i</u> /	達成率	100.0%	100.0%		100.0%	а	. 退内のすべ	ての一次救刍	救急告示医療機関	月での研修の盟催	
		日垣店	1	1		1	a	/N: 1°/ 7				

[3. 事業の成果]

(回)

若年性認知症相談機関への研修

	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成 (27年度)	評価	事業の成果
成果指標		目標値	300	300		300		県下6カ所の救急告示医療機関で出前型の研修を実施することで、入院時におこる 認知症の人のせん妄やその対応方法に関する知識を幅広い医療従事者に提供するこ
	一般病院の認知症対応力向上研修 の修了証書発行数(人)	実績値	327	307		307	a	とができた。座学だけでなく演習を加えることでにより多職種連携により解決を図る方法を検討でき、一般病院で認知症対応に苦慮しているという意見をえることが
		達成率	109.0%	102.3%		102.3%		る方法を検討でき、一般例所で認知症対応に舌慮しているという息見をえることができた。

100.0%

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性 終了 継続・見直し 例外的に継続 廃止

目標値

実績値

達成率

100.0%

100.0%

今後の事業方針

・本事業は27年度までで終了するが、「認知症高齢者対策事業」と「若年性認知症相談支援体制整備事業」等の実施により、引き続き認知症高齢者への適切な医療の提供と若年性認知症に関する 相談体制の整備を推進

別紙 2-4

(事業実施年度:平成27年度) (評価実施年度:平成28年度)

車業夕	事業名 市町村認知症施策強化推進事業		車柴期間	亚出 9.7	年度~平成 29 年度	政策区分	健康長寿・生涯現役社会の構築 ~健康寿命日本一の実現~
学 未石	111四1个1部次121年70年70年70	四亿在进争未	争未规则	平成 21	中皮 一	施策区分	高齢者の活躍と地域包括ケアシステムの構築
総合評価	A	継続・見直し	事業実施護	県(室)名	高齢者福祉課	評価者	高齢者福祉課長 清末 敬一朗

[1. 現状・課題、目的]

高齢化の進展に伴い、今後さらに増加する認知症高齢者とその家族が住み慣れ 現状・課題 た地域で安心して生活できるための支援体制の整備が課題となっている。

達成率

事業の目的

民間セクター等を含めた幅広い分野における関係機関との協働による「認知症にやさしい 社会」づくりを推進するとともに、市町村が実施する認知症施策の取り組みを支援する。

[2. 事業内容] (単位:千円)

	4·H _											(十字・111)
	活動名及び活			事業実施年度に	おける効率	を化の取組状況	コスト	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(予算)		
	プロデュース事業								総コスト		10, 644	9, 113
	プロデュース委員会の開催(6回) おおいた認知症フォーラム」の開催	(1回) 委割	£先:大分合	同新聞社		おおいた認知	の庁フュー	-ラルの関爆	事業費		4, 644	3, 113
	定施策応援事業 スーパーバイザーの派遣(12回)					を大分合同新	間に委託す	つることによ	(うち一般財源)		1, 443	1, 327
認知症の総合	合アセスメント研修の開催 (1回) 集中支援チーム員研修の派遣 (18人)					り、広報と事	来を効率的	刀に実施	人件費		6,000	6,000
	を接推進員研修の派遣(9名)								職員数 (人)		0.60	0.60
	指標名(単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	最終達成 (29年度)	評価			今後の課	題	
	認知症施策プロデュース委員会の	目標値		6	3	3						
X 41 11 12	開催回数(回)	実績値		6			1	116 let 0 =	中で十巻き	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
活動指標	州性自然(自)	達成率		100.0%			1 _			トワークの構築	こついての正しい理解	初の並及砂丝
	初知序如期焦由主授 4.)是可收	目標値		18	6	6	a			らなる充実・強化	こういくの正しい遅ん	件の音及合宪
	認知症初期集中支援チーム員研修 の派遣(人)	実績値		18						りなる元大・風山		
	マンガルル旦 (ノヘ)	本中本		100 00/			1	II				

[3.事業の成果]

	指標名 (単位)	達成度	26年度	27年度	28年度	策終達成 (29年度)	評価	事業の成果
成果指標		目標値		10	13	18		平成30年度までに全市町村に認知症初期集中支援チームを設置しなければならな
从八1日/示	認知症初期集中支援チームの設置 自治体数	実績値		10				いところ、10市町でチームの設置が完了し、認知症高齢者とその家族が住み慣れた
		達成率		100.0%				地域で安心して生活できるための支援体制の充実が図られた。

[4. 今後の方向性等]

今後の方向性 終了 (業競・見直し) 例外的に継続 廃止

今後の事業方針

- ・認知症施策プロデュース委員会の部会の設置により、認知症高齢者の安心・安全につながる見守り体制の充実と地域、職域による認知症サポーターの活用
- ・市町村の認知症施策(認知症初期集中支援チームの設置、認知症地域支援推進員の配置)を引き続き支援し、地域で認知症高齢者を支える体制の整備を推進

100.0%